



八峰白神ジオパーク 再認定

12月16日、日本ジオパーク委員会が開かれ、10月から11月に現地調査を行った5地域の日本ジオパーク再認定について審議されました。同日午後4時ころ、委員会から八峰町役場へ電話で連絡が入り、八峰白神ジオパークは「再認定」となりました。

(日本ジオパーク委員会HPより)

ー八峰白神ジオパークー

4年前の審査での指摘については、ほぼ解決に向けて着手されているか解決済みである。ガイド活動、地域住民の参加、小学校との連携も順調に進んでいる。

今後は事務局運営と人材確保の安定化を図り、地質図の活用、ネットワークへの貢献など、積極的に活動していくことを期待する。以上のことから、日本ジオパークとして再認定とする。



八森小学校での現地調査の様子



白瀑での現地調査の様子



再認定の吉報を受けて



審査結果を聞く西出副会長

今回の審査では、地域での活動が大変評価されました。ご協力いただいた町民の皆様、ありがとうございました。今後もジオパーク活動で八峰町を元気にしていきますので、応援・ご協力よろしくお願いします！

八峰白神ジオパーク

連載143回

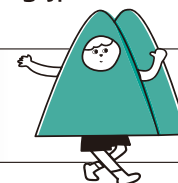


事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎0185(76)4605 FAX 0185(76)2203
HP <https://geopark.town.happo.lg.jp/>



白神の恵みに生きる



地域の人の話を聞いて、
大地と自然と人のつながりを考えます

【お客さんに蕎麦づくりを楽しんでほしい】



話をしてくれた人

齊藤 進 (さいとうすすむ) さん

昭和12年生まれ。本館在住。本館そばの会会長。座右の銘は「やらない後悔よりやる後悔」。

●みんなで仲良く楽しんで

平成12年にそば打ち体験館ができてから22年になります。最初は、果たしてここにお客さんが来るのだろうかと思いました。みんなにも、「こういう田舎に来るわけないべ」と言われました。でも、私はやってみねば分らないと思いました。そして、コロナ禍になる前は年間500～800人のお客さんが来てくれました。

そば打ち体験は本館そばの会というグループでお互いに教えあいながらやっています。蕎麦は70代からでも、10年はがんばるにいい。楽しんでやれます。家でぼつんというよりもみんなで仲良くして楽しいことやっている方がいい。特に小学生とか中学生は体験を非常に喜んでくれるのでやりがいがあります。包丁を初めて使えるようになったとか、友達出来て良かったとか、喜んでくれればこっちも面白いです。

●人との出会いに感謝

私はまずなんでもやってみたい性分です。やってみれば自分に合っているか分かる。22年続けてこれたことを考えれば、蕎麦は合っていたんですね。私は手が人より温かいんだな。手が温かい人は蕎麦打ちに適している。蕎麦をこねるときに早くこねることができます。手がしゃっさい人は寿司屋がいい。やっぱりそれぞれに向き不向きがあるんですね。蕎麦づくりを続けてきたおかげで、色々な人との出会いがあって、これまでやってこれたのでありがたいです。人に尽くして頑張っていれば、必ずいつか誰かが応援してくれる。そういう思いでやってきました。

●蕎麦づくりのこだわりと今後

蕎麦の粉にはその地域ごとに違いがあって、本館の蕎麦には甘みがあります。水がいいんですね。そして、蕎麦づくりは簡単なようで難しい。自分の納得する味を追求するのはやりがいがあります。長くてコシがあって、のど越しが良いものができるようになるまで15年くらいかかりました。でも、自分がいつまでやってもダメだから、若い人ががんばってもらいたいです。若い人が上手になるまで、自分が元気にいるうちは指導していきたいです。

